

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

第48回総会を開催



3月25日(日)、けんせつプラザ東京で東京社保協第48回総会が開催され25団体30地域130人が参加しました。

総会は、須田昭夫会長が主催者あいさつを行い、

情勢学習として、本田宏先生(NPO法人医療制度研究会副理事長)が「社会保障崩壊のルーツ 明治維新を振り返る」と題して講演を行いました。



本田宏先生

総会の来賓として、中央社保協山口一秀事務局長と和泉なおみ日本共産党都議会議員が挨拶を行いました。また、総会メッセージが千葉、茨城、群馬、埼玉、神奈川の各県社保協から寄せられました。

(詳細は5月号に掲載します)

東京高連第26回総会

東京高齢期運動連絡会は、3月1日に第26回総会を開催し、最近4回の総会では最高の24団体・42人が参加しました。



総会記念講演は、芝田英昭立教大学教授が「地域共生社会の批判的検討」と題して講演しました。

討論では、革新自治体を作っていく展望を持つ意義、日本高齢者東京大会後に渋谷に生まれた高齢期連絡会の活動。自治体への要求運動の結果の評価と地域の交流の必要性などについて発言があり、三多摩連絡会から、3月2日に開催する「三多摩集会」について発言がありました。

総会は、地域の活動を重点に、高齢期要求の実現を重視する2018年度方針を全体で確認し、年金

者組合東京都本部委員長の杉山文一さんを新しい会長に選出し閉会しました。

沖縄と連帯し、安倍9条改憲を許さない三多摩のつどい

3月2日、小金井市に於いて「沖縄と連帯し。安倍9条改憲を許さない三多摩のつどい」を開催し、会場あふれる600人が参加しました。

日本高齢者沖縄大会で講演予定だった、琉球新報の島洋子さんが、「沖縄で今何が起きているか」と題して講演。名護市長選挙の状況をリアルに報告、沖縄をめぐる2つの神話「沖縄は基地で食っている」「米軍基地は沖縄に置くしかない」といった間違っただ見方の誤りを具体的資料に基いて解き明かし、沖縄の現実からこの憲法の優れた力をしっかりと汲み取ろうと訴えました。

(東京高連ニュースより)

各地域・団体の取り組み

墨田社保協



墨田区と対区交渉

1月22日（月）、墨田社保協は対区要請行動を行い、区側から24人、社保協から8団体23人が参加しました。

この行動は、社保協が提出した「要望書」に墨田区が昨年12月に回答。この回答に対して、社保協として質問・再要望を重点項目に絞って約2時間の交渉を行いました。

墨田健康友の会からは、健康づくりに欠かせない「会場確保」に苦労していること。年金者組合からは、年金者生活実態改善のためにも、区が国の制度の代弁者のような回答ではなく、区民の声を国に伝えるのは自治体の責務と迫り、区からも「必要な意見は国に伝えていきたい」との回答を引き出しました。新婦人からは、「保育所等整備計画」の問題点と就学援助金（入学準備金）の拡充を求めて要請しました。また、生活と健康を守る会からは「生活保護事業」全般についての要望。東京土建からは、アスベスト除去工事助成制度の制定を訴えました。



最後に、社保協の共同代表のクリニック柳島の中村医師から、区健康施策と胃がん検診への内視鏡検査の導入などについて、専門

家の立場から訴えました。引き続き、区民の要望実現のために運動を広げていきます。

（墨田社保協 ニュースより）

北区社保協



働けないなら刑務所に戻れ

2月27日、王子三角公園で定例の「なんでも相談会」を開催し、7団体・25人（相談員10人）が対応しました。今回は、仮釈放中受刑者の事例を報告します。

5年前に心臓バイパス手術を受け、身体障害者1種4級の認定を受け、荒川区在住で大学病院に定期受診している方から相談がありました。この方は、2017年に刑務所を仮釈放され、保証人のいるI市で生活保護の相談に行ったところ、水際作戦に会い申請出来ずに途方に暮れていたところを、偶然通りかかった王子駅前の「なんでも相談会」につながったものです。

申請の際に市役所の職員から言われた「働けないのか？」「働けないなら刑務所に戻れ」と言われた。この言葉に深く傷ついたそうです。その後、共産党荒川区議団につなぎ、本人の希望で荒川区で生保申請の対応中です。何れにしても、行政には出所後の社会復帰のためのきちんとしたフォローが求められています。

（なんでも相談だよりから）



〈お茶コーナーでの対話風景〉

葛飾社保協



葛飾社保協は2月23日、葛飾勤労福祉会館で第23回総会を開催し、16団体・32人が参加しました。

主催者あいさつで、公文会長は「安倍首相は、新年度予算で社会保障を削り軍備費を増強させ、国民生活をないがしろにする政策を進めている」と、安倍首相の政治姿勢を厳しく批判しました。

来賓あいさつを兼ねて情勢報告を東京社保協相川事務局次長が行い、共産党木村区議が国保や介護問題などの区議会報告、拝殿副会長も情勢報告を行いました。



吉野事務局長が活動報告と今後の方針を提案し、これを受けて討論を行いました。各団体からは、年金問題や消費税増税反対の取り組み、教科

書問題や保育問題、生活保護費引き下げに反対する取り組みやシルバーパス問題など、多彩な取り組みの報告がありました。

最後に、まとめと方針、決算・予算、新役員を確認して総会を終了しました。

葛飾高齢者のつどい



3月3日、葛飾高齢者のつどいが開催され31人が参加しました。フォトジャーナリストの森住卓さんが講演し、沖縄の歴史と闘いをスライドを使って話され、沖縄に連帯した本土のたたかいを進めるうえでも大変参考になる内容でした。

つどいに続いて、葛飾高齢者懇談会の第4回総会が行われ、自治体要求の取り組みや、11月に開催される日本高齢者大会への取り組み、葛飾高齢者のつどいを10月に開催することなどが提起され、全体で確認されました。

(葛飾社保協ニュースより)



「社会保障」誌の購読を

「資料と解説」が豊富で、激動する情勢や社会保障制度がよくわかる！役に立つ！
学習や運動にぜひご購読を

- 定期購読（年6回）
3000円（送料別）
1部500円（送料別）
- 申込みは東京社保協へ
TEL03-5395-3165
FAX03-3946-6823
*ホームページからも注文できます



巣鴨駅前定例宣伝行動



3月14日(水)、定例の巣鴨駅前「4の日宣伝」行動を実施しました。

この行動には、東京社保協から23人(内東京

土建17人)、中央社保協10人の合計33人が参加しました。

参加した各団体がリレートークを行いながら、署名・宣伝、署名ハガキ付きチラシ、3000万署名ハガキの配布、介護無料なんでも相談・血圧測定などを行いました。

この行動では、署名(25条、9条)45筆、介護相談・血圧測定7人、署名ハガキ付きチラシを約2700個を配布しました。



独自国会行動
5月17日(木)10時半～
国会内(会場未定)

定例国会行動
4月11日(水)、5月9日(水)
12時00分～ 衆議院第2議員会館前
4月25日(水)12時15分～

「4の日」定例宣伝行動

- ・4月14日(土)12時～13時
 巣鴨駅前
- ・5月14日(月)12時～13時
 巣鴨駅前
- ・6月14日(木)12時～13時
 巣鴨駅前

主催:東京社保協・中央社保協

9条改憲NO! 平和といのちと人権を! 5.3憲法集会

5月3日(木)11時～
会場:有明防災公園

第47回東京社保学校

7月開催で日程調整中
会場:けんせつプラザ東京
講師は検討中